

## ジブチ政治・経済月例報告 (2020年4月)

令和2年5月  
在ジブチ日本国大使館

### 1 新型コロナウイルスを巡る状況

#### ●国内措置（5月4日時点）

※3月下旬より実施されている外出禁止、国境閉鎖（陸海空。物資輸送は除く）、政府官庁や不可欠でない商店等の閉鎖、公共交通機関の停止は継続。

4/14 州間及び都市間の乗客の移動禁止（緊急車両及び物資輸送は除く）。

4/15 国内措置違反者に対する罰則規定を制定。

4/24 学校・教育機関の閉鎖を9月まで延長

4/30 外出禁止を5月8日まで延長

4/29 国内企業向けの措置として、雇用者による被雇用者に対する給与補償を義務付け（一部政府補助有り）

#### ●保健当局の対応

3月中旬より開始したPCR検査を積極的に実施。検査数及び感染確認数のいずれも、人口当たりで見るとアフリカ諸国の中では高水準（5月4日時点で検査数14,222件、感染確認者1,116名）。

#### ●貧困層等への支援

外出禁止等のため生活が困難となる脆弱層に対し、政府・国際機関による食料等の生活支援の配布を開始。

### 2 経済

●経済・財政省等の試算によれば、新型コロナウイルスを受けた外出禁止等によりインフォーマルセクターや日雇い労働者を含め約3万4千人以上の失業が予想され、ジブチ経済全体に影響を及ぼすとされる。

●世銀は4月に発表した経済見通しにおいて、2020年ジブチのGDP成長率予測を7.5%（2020年1月時点）から1.3%に下方修正。2021年は9.2%、2022年～2025年は8.0%と回復を予測。

●ジブチの港湾を含む物流インフラの機能は維持されており、ジブチ国内及び周辺国への物流に大きな支障は出ていない。

#### ●エチオピア向け貨物に対する優遇措置

4/14 ジブチ港フリーゾーン庁（DPFZA）は、エチオピア向け貨物のターミナル・ハンドリング・チャージ（THC）の60日間の無料化並びにポートチャージの82.5%減額を発表。

### 3 国内のその他取組み

●国内の教育・研究機関における取組み

4/8, 4/30 ナビル高等教育大臣はジブチ大学内の Fablab（試作ラボ）を視察し、医療従事者防護用のフェイスカバー、紫外線による消毒装置などを制作する学生を激励し、医学部、工学部など関連分野の研究者・学生による連携を促した。

#### **4 国際関係等**

3/31, 4/7 ジブチ港フリーゾーン庁（DPFZA）は中国商招局（China Merchant）を通じて、手袋、マスク、感染診断用器材等の医療物資を購入。輸送された物資の一部は中国商招局による寄付。今後も定期的に輸送予定。

4/2 世銀は、ジブチの新型コロナ対策プロジェクトに対し500万米ドルのIDA融資を決定。

4/7 政府間開発機構（IGAD）は地域の新型コロナ対策のため基金を設立し、ジブチに対し10万米ドル供与を決定。

4/25 トルコ航空のチャーター機により、トルコに残留していたジブチ人約50名が帰国。また、同チャーター機を利用して、3月21日に発生した豪雨・洪水支援としてトルコ新月社などの支援団体による支援物資（食料・衛生管理物資）750箱を供与。帰路は、ジブチに残留していたトルコ人等103名をトルコへ移送。

4/30 中国人医師12名がジブチを訪問し、検査センターや病院等にて、新型コロナウイルスの診断・治療・予防対策などの知見を共有。

#### **5 その他の国内情勢・政治**

##### **●豪雨・洪水災害の発生**

4/21 ジブチ各地で豪雨・洪水災害が発生。国連の報告書によれば、ジブチ市だけで約1.8万世帯11万人（注：人口の10%強）が被害を受け、5名が死亡。また、新型コロナウイルス検査を行っているブファール病院も浸水する等の影響があった。

##### **●アリ・ゲレ投資担当大臣逝去**

4/27 FRUD（与党連合第2政党）の結党当初のメンバーであり、90年代の内戦後の和平プロセスにも貢献したアリ・ゲレ投資担当大臣（大統領府付）が逝去

以上